SONY®

3-868-191-**01**(1)

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER

ICD-R200

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にため し録りをしてください。
- ICレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

目次

いろいろな録音のしかた

その他の機能

設定を変える — メニュー設定

パソコンに接続する

その他

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

ボタンの名称は英語になっておりますので、( )内に表記されている英語の名称をご覧ください。

⚠警告

火災

感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

電池についての安全上の ご注意

漏液、発熱、発火などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ICレコーダーとは?

本機は、ICメモリーを使用して手軽に声のメモなどを録音できるICレコーダーです。簡単な操作で、録音や再生が手軽にできます。

●録音

ICレコーダーでは、新しく用件を録音すると、自動的にメモリーの最後尾に記録されます。このため、テープレコーダーのように、他の用件の上から録音してしまう失敗がありません。
さらに、テープレコーダーと異なり、録音を始めるところまで早送りや巻き戻しをする必要がないので、必要なときにすぐ録音を始められ、大変便利です。

●再生

テープレコーダーのように巻き戻しをする必要がないので、今録音したばかりの用件をすぐに聞くことができます。また、聞きたい用件を簡単に探して聞くことができます。

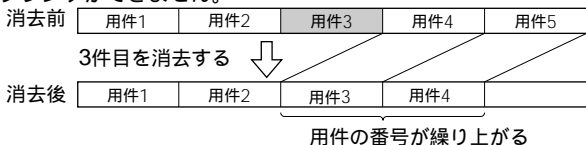
●消去

不要な用件は、簡単に消すことができます。
途中の用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、テープのようにブランクができません。

消去前	用件1	用件2	用件3	用件4	用件5

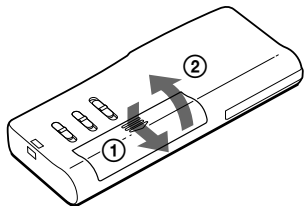
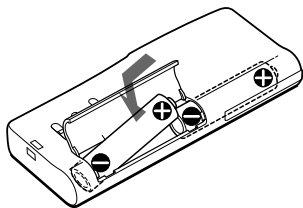
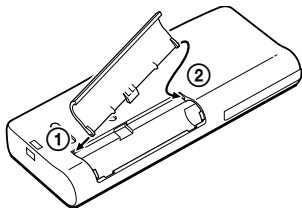
3件目を消去する

消去後	用件1	用件2	用件3	用件4	

用件の番号が繰り上がる

主な特長

- **最大録音時間**　128**分**(SP)／300**分**(LP)
  長時間の会議や講義なども録音できます。
- 2**つのファイルに各**99**件まで録音可能**
- **アラーム再生機能（**30**ページ）**
  設定した時間に自動的に再生が始まります。
  打ち合わせなどの時間にアラームを設定して、スケジューラーのように使うこともできます。
- **インデックス機能（**26**ページ）**
  「インデックス」を追加し、好きなところで用件を分割することができます。「インデックス」を追加したところは再生時に素早くアクセスでき、会議など長時間録音をする際に便利です。
  また、「インデックス」を削除し、2つの用件をひとつにつなげることもできます。
- **再生スピード調節機能（**25**ページ）**
  用件を速聞きまたは遅聞き*ができます。会議録音などの再生時に便利です。
  * 速聞き：＋30 %（LPモード時）または＋20 %（SPモード時）
    遅聞き：–15 %
- **デジタル**VOR**（自動音声録音スタート）機能（**22**ページ）**
- **追加録音機能（**23**ページ）**
  録音済みの用件の後ろに、新たな用件を続けて録音し、1つの用件として管理することができます。
- **外部マイク端子（**24**ページ）**
- **見やすいバックライト付き液晶表示窓（**47**ページ）**
- **パソコン接続機能（**41**ページ）**
  別売りのパソコン接続キットICKIT-W2(日本国内）を使って、ICD-R200に録音した用件をパソコンに取り込むことができます。

準備1: 乾電池を入れる

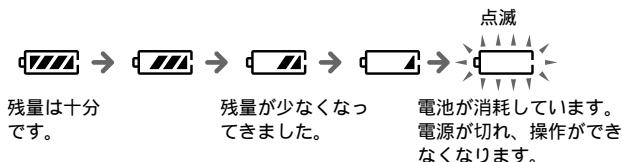
1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける

2 単４形アルカリ乾電池（付属）を2本入れ、ふたを閉める

電池ぶたは落としたり、
無理な力を加えたりすると
はずれることがあります。
そのときは右の図のように
はめ直してください。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかった後に電池を入れたときには、日付表示が点滅します。「準備2: 時計を合わせる」（10〜11ページ）の手順2〜4をご覧になり、時計を合わせてください。

乾電池を交換する時期

電池の残量がなくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

残量は十分です。

残量が少なくなってきました。

電池が消耗しています。電源が切れ、操作ができなくなります。

が表示されたら、電池を交換してください。

ご注意

- 電池を交換する際、消耗した電池を抜いてから３分以内に新しい電池を入れないと、時計設定画面（日付表示が点滅）に戻ってしまったり、日付・時刻が正しく表示されないことがあります。この場合は時計を合わせ直してください。
  なお、録音した内容やアラーム設定は消えません。
- 電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。

乾電池の持続時間(ソニーアルカリ乾電池LR03(SG)使用時)

連続使用の場合：録音時約25時間、再生時約13時間*

* 音量（VOL）つまみ「4」付近で内蔵スピーカーで再生した場合
* 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

ご注意

本機にはマンガン電池はお使いになれません。

準備2: 時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日付を記録するためには、本機の時計合わせをしておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、日付表示が点滅します。手順2から始めてください。

1 時計設定画面を表示する

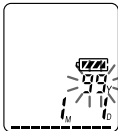
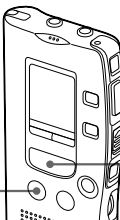
① **メニュー(MENU)ボタンを押す。**
メニューモード*に入ります。

② **.を1回押して「SET DATE」を表示させる。**

③ **►再生／停止(PLAY/STOP) ボタンを押す。**

*「MODE」の代わりに「ALARM」と表示される場合もあります (50ページ)。

2 年月日を合わせる

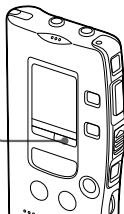
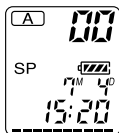
① **.または>を押して「年」の数字を選ぶ。**

☞ 「2000年」に合わせるには「00Y」を表示させてください。

② **►再生／停止(PLAY/STOP) ボタンを押す。**
「月」の数字が点滅します。

③ **同様にして、「月」、「日」を合わせ、►再生／停止(PLAY/STOP) ボタンを押す。**

3 時分を合わせる

③ 同様にして、「分」を合わせる。

④ 時報と同時に►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。
SET DATE表示に戻ります。

4 メニューモードから出る

用件を録音する

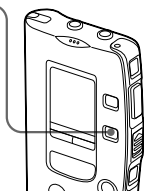
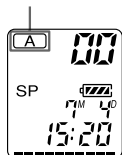
A、Bの2つのファイルそれぞれに99件までの用件を録音できます。
●録音／停止（REC/STOP）ボタンを押すと、自動的に一番最後の部分に録音が追加されるので、テープのように録音されていない部分を探す必要がなく、すぐに録音が始められます。

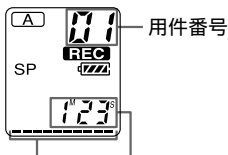
例：

用件1	用件2	新しい用件	空きスペース

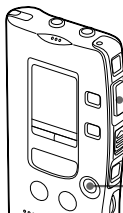
ご注意
長時間録音するときは、新しい電池を入れてください。録音を始める前に必ず電池残量表示（9ページ）を確認してください。

1 録音したいファイルを選ぶ

ファイル(FILE)ボタンを押して「A」または「B」を表示させる。

ファイルの種類

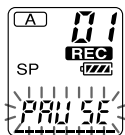
2 録音を始める

●録音／停止（REC/STOP）ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

* 表示(DISPLAY)ボタンで設定した表示（36ページ）が表示されます。

3 録音を止める

☞ **録音を止めるには**
●録音／停止 (REC/STOP)ボタンの代わりに■停止 (STOP)ボタンを押して、録音を止めることもできます。

次に録音するとき、ファイルが同じ場合は、手順1は省略できます。

録音の途中で止めるには（一時停止）

一時停止する*	❚❚一時停止 (PAUSE)ボタンを押す。録音一時停止中は録／再(OPR)ランプが赤く点滅し、「PAUSE」表示が点滅します。
一時停止を解除する	もう一度❚❚一時停止 (PAUSE)ボタンを押す、または●録音／停止 (REC/STOP)ボタンを押す。先ほど録音していた用件に続けて録音することができます。(録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■停止 (STOP)ボタンを押します。）

* 録音を一時停止して約1時間たつと、一時停止は解除され、録音停止になります。

(次ページへ続く)

録音するときのご注意
録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されてしまうことがありますので、ご注意ください。

今録音したばかりの用件を聞くには

- ●録音／停止 (REC/STOP)ボタンまたは■停止 (STOP)ボタンを押して録音を停止したあと、次に►再生／停止 (PLAY/STOP)ボタンを押すと、今録音した用件の始めから聞くことができます。
- 録音を停止する前に►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押しても、録音が止まり、その用件の始めから再生が始まります。

内蔵マイクの感度を切り換えるには
用途に合わせ、裏面のマイク感度 (MIC SENS)スイッチを切り換えます。
会議(H)：会議録音モード。遠くの音や小さい音を録音するとき使います。
（例：会議を録音するとき）
口述(L)：口述録音モード。近くの音や大きい音を録音するとき使います。
（例：マイクを口元に近づけて録音するとき）

外部マイクや他の機器から録音するには
24ページをご覧ください。

録音中の音を聞く（モニターする）には

別売りのイヤホンをイヤホン(EAR)ジャックに差し込んでください。モニター音は音量(VOL)つまみで調節できます。（録音レベルは一定です。）

ご注意
録音モニター中に音量を上げすぎたり、イヤホンをマイクに近づけすぎたりすると、イヤホンの音をマイクが拾い、ピーッという音（ハウリング）が生じることがあります。

録音可能時間について

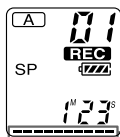
最大録音時間は、全ファイル合わせてSPモードで128分、LPモードで300分、両モードを混ぜると128〜300分の間になります。
お買い上げ時は、SPモードが選択されています。録音モードを切り換えるには、37ページをご覧ください。録音可能な残り時間は、表示モード（36ページ）を切り換えて、「残り時間表示モード」で確認することができます。

ご注意

ICレコーダーの録音方式では、システム上の制約で、最小録音単位（SPモードでは約4秒間、LPモードでは約10秒間）があるため、以下のような症状が起こることがあります。

- 最小録音単位より短い用件の場合、約4秒間（または約10秒間）の用件としてカウントされるため、実際に録音した秒数よりも残り時間の減りかたが多くなることがあります。
- 最小録音単位より長い用件の場合でも、端数が出た場合は、同様に実際の録音時間よりも多く残り時間が減ることがあります。
- 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「残り時間」を合計した時間が、最大録音時間（SP:128分、LP:300分）より少なくなる場合があります。

メモリー残量表示について

残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。

録音中に残り時間が5分を切ると、メモリー残量表示の最後の一つが点滅し、残り時間が1分を切ると、「REMAIN」の表示と設定した表示モード(36ページ）が交互に点滅します。メモリーがいっぱいになると、自動的に録音が止まり、「ピピピ」という警告音が鳴り、「END」表示が点滅します。録音を続けるには、不要な用件をいくつか消去してください。（20ページ）

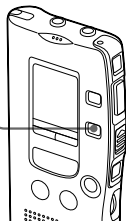
ご注意

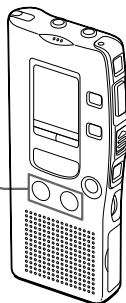
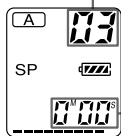
- メモリーがいっぱいのときに録音しようとすると、「ピピピ」という警告音が鳴り、「END」表示が点滅します。不要な用件を消去（20ページ）してから録音してください。
- 99件録音済みのファイルに録音しようとすると、「ピピピ」という警告音が鳴り、「END」表示と用件表示が点滅します。
  もう一方のファイルを選ぶか、不要な用件をいくつか消去してから録音してください。（20ページ）

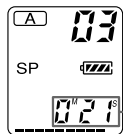
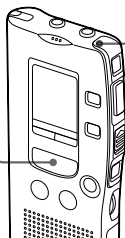
録音した用件を聞く

あらかじめ録音してある用件を選んで聞くときは、手順1から操作してください。
今録音したばかりの用件を聞くには、手順3から行ってください。

1 ファイルを選ぶ

ファイル(FILE)ボタンを押して「A」または「B」を表示させる。

ファイルの種類

2 用件番号を選ぶ

*表示(DISPLAY)ボタンで設定した表示(36ページ）が表示されます。

3 再生を始める

1つの用件の再生が終わると、次の用件の始めで停止します。
ファイル内の最後の用件の再生が終わると、その用件の始めに戻って停止します。

4 音量を調節する

イヤホンやヘッドホンで聞くには

イヤホンまたはヘッドホン（別売り）をイヤホン（EAR）ジャックに差し込んでください。スピーカーからは音が出なくなります。

(次ページへ続く)

再生の途中で止める

再生の途中で停止し、用件の頭に戻る	■停止(STOP)ボタンを押す。
再生の途中、その位置で停止する*	►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。もう一度►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

* ❚❚一時停止(PAUSE)ボタンを押しても、再生を一時停止できます。このときは、録／再(OPR)ランプが緑に点滅します。また、約1時間たつとその位置で停止状態になります。

その他の操作

今聞いている用件の頭に戻る	⏮を短く1回押す。
前の用件、さらに前の用件に戻る	⏮を短く何回か押す。（停止中は押したままにすると、連続して戻ります。）
次の用件に進む	⏭を短く1回押す。
さらに次の用件に進む	⏭を短く何回か押す。（停止中は押したままにすると、連続して進みます。）

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

早送りするには、再生中に⏭を押し続け、聞きたいところで離します。
早戻しするには、再生中に⏮を押し続け、聞きたいところで離します。

10秒以上押したままにすると、さらに高速での早送り／早戻しになります。

始めの10秒間は早送り／早戻し中の音が再生されます。
高速早送り／早戻し中の音は再生されません。

早送り／早戻し中は、表示モード（36ページ）の設定に関係なく、カウンター表示になります。

☞ **最後の用件の終わりまで早送りすると**
最後の用件の終わりまで送られると、「END」表示が3秒間点滅します。点滅中は録／再(OPR)ランプは緑に点灯しています。（再生音は聞こえません。）「END」の点滅中に⏮ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
「END」の点滅と録／再(OPR)ランプが消えると、最後の用件の頭に戻って止まります。

最後の用件が長時間の用件の場合で、用件中の後ろの方を探して再生したい場合は、⏭ボタンを押し続けていったん用件の最後まで早送りして、「END」表示の点滅中に⏮ボタンを押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
（最後の用件以外の場合は、次の用件の頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。）

同じ用件を繰り返し聞くには — 1件リピート再生

再生中に▶再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを1秒以上押します。
「⮎」が表示され、その用件が繰り返し再生されます。
リピート再生をやめて普通の再生に戻るには、▶再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押します。
再生を止めるには、■停止(STOP)ボタンを押します。

用件の頭だけをひと通り聞くには — スキャン再生

停止中に▶再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを1秒以上押します。
「SCAN」が表示され、選んだファイル内の最初の用件から最後の用件まで始めの5秒ずつ再生します。
聞きたい用件がみつかったら、▶再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押すと、その用件を続けて聞くことができます。

ファイル内の用件を続けて聞くには — コンティニュー再生

40ページをご覧ください。

録音した用件を消去する

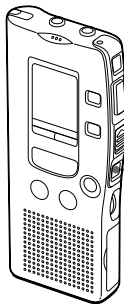
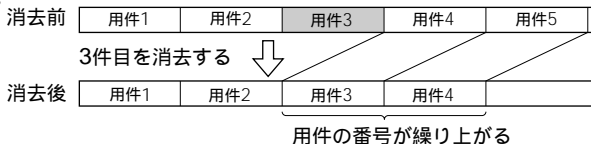
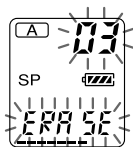
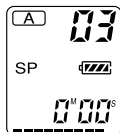
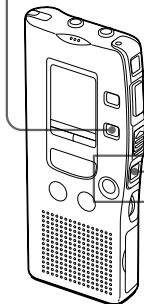
録音した用件を1件ずつ、または1つのファイル内の全用件を一度に消去することができます。
一度消去した内容はもとに戻すことはできませんので、ご注意ください。

1件ずつ消去する

消したい用件だけ消去することができます。
用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

消去前	用件1	用件2	用件3	用件4	用件5
消去後	用件1	用件2	用件3	用件4	

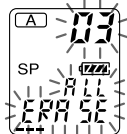
3件目を消去する

用件の番号が繰り上がる

① **消去したい用件を再生中に消去**(ERASE)**ボタンを押す。または、停止中に消去**(ERASE)**ボタンを１秒以上押す。**
「ピピッ」という確認音が鳴り、用件番号と「ERASE」が点滅し、消去したい用件の初めと終わりの5秒が10回ずつ再生されます。

② **用件が再生されている間に消去**(ERASE)**ボタンをもう1度押す。**
用件が消去され、以降の用件番号が繰り上がります。
(例えば、用件3を消去した場合、用件4だったものが用件3になります。消去が完了すると、消去した用件の次の用件の頭で停止します。）

途中で消去をやめるには
手順②の前に■停止(STOP)ボタンを押します。

他の用件を消去するには
手順①と②を繰り返します。

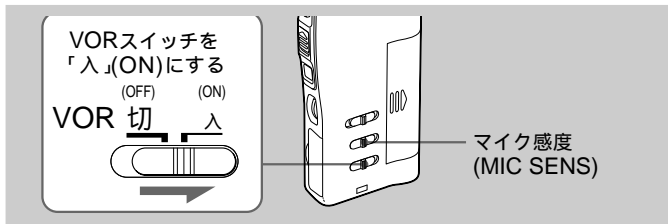
ひとつの用件の一部分だけ消去するには
インデックスを追加（26ページ）して、消去する部分としない部分に分けてから、消去したい部分の用件番号を選んで前ページの操作をします。

ファイルの内容を一度に消去する

1つのファイルの中のすべての用件を一度に消去することができます。

途中で消去をやめるには

手順③の前に停止■(STOP)ボタンを押します。

音がしたとき自動的に録音を始める — デジタルVOR機能

VOR(自動音声録音スタート)機能を使うと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が止まるので、空録音の部分がなくなり、効率の良い録音をすることができます。

デジタルVORスイッチ「入」(ON)の状態で、12ページの操作をして録音を始めると、音が小さいときには自動的に録音を一時停止します。
このとき、「VOR PAUSE」が表示されます。

デジタルVORを解除するには

デジタルVORスイッチを「切」(OFF)にします。

ご注意

VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度 (MIC SENS)スイッチ (14ページ)を「会議(H)」または「口述(L)」に切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、VORを「切」(OFF)にしてください。

録音済みの用件に追加録音する

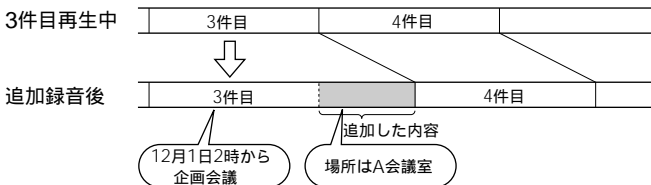
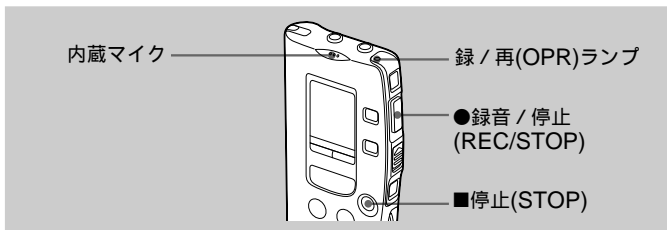
用件を再生中に、その用件に追加して録音することができます。
新しく追加した内容は、どこで録音を始めても、再生中の用件の最後に追加されます。
用件番号は新たにつけられるのではなく、再生中の用件の一部として数えられます。

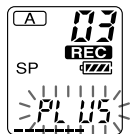
3件目再生中　3件目　4件目

追加録音後　3件目　4件目

追加した内容

12月1日2時から企画会議

場所はA会議室

1　再生中に●録音／停止(REC/STOP)ボタンを1秒以上押す。

「REC」が表示され、「PLUS」が3回点滅します。
録／再(OPR)ランプは赤に変わります。
再生中の用件に追加録音されます。

2　●録音／停止(REC/STOP)ボタンまたは■停止(STOP)ボタンを押して録音を止める。

ご注意

追加録音する部分は、再生中の用件の録音モード(SPまたはLP)に関わらず、現在設定されている録音モードで録音されます。

外部マイクや他の機器から録音する

ご注意 – 録音する前に

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

1 マイク(MIC)端子に、外部マイク（別売り）や他の機器などをつなぐ。

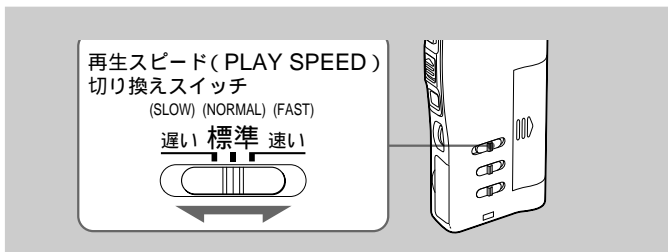
- **外部マイクで録音するには**

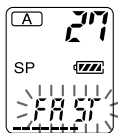
外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

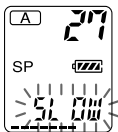
- **他の機器から録音するには**

2 「用件を録音する」(12ページ)の手順に従って操作する。

再生スピードを調節する

本機の裏面にある再生スピード（PLAY SPEED）切り換えスイッチによって、再生速度を調節できます。

速聞きするには

再生スピード（PLAY SPEED）切り換えスイッチを「速い（FAST）」にします。
再生を始めると「FAST」の表示が3回点滅し、約30%（LPモード）または約20%（SPモード）速い速度で再生されます。

遅聞きするには

再生スピード（PLAY SPEED）切り換えスイッチを「遅い（SLOW）」にします。
再生を始めると「SLOW」の表示が3回点滅し、約15%遅い速度で再生されます。

普通の再生に戻すには

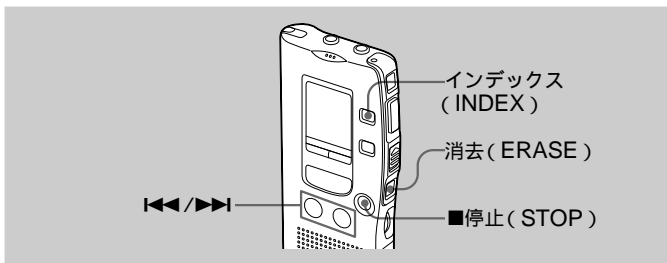
「標準（NORMAL）」に合わせます。

☞ 再生中に再生スピードを切り換えることもできます。

用件をふたつに分ける／つなげる
ーインデックス追加／削除

ひとつの用件の途中に「インデックス」を追加してふたつに分割したり、「インデックス」を削除してふたつの用件をひとつにつなげることができます。

録音中／**再生中** ー インデックス追加ができます。（下記参照）

停止中 ー インデックス削除ができます。（28ページ参照）

用件をふたつに分ける（インデックス追加）

再生中または録音中に、用件に「インデックス」を追加し、用件を分割することができます。

インデックスを追加すると、その場所から新たな用件番号がつくため、会議など長時間録音の場合に、再生したい場所が素早く探せるので便利です。

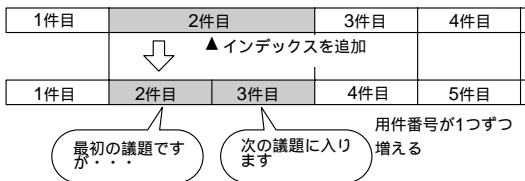
1件目	2件目		3件目	4件目

▲インデックスを追加

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目

最初の議題ですが・・・

次の議題に入ります

用件番号が1つずつ増える

●録音中にインデックスを追加するには

用件の録音中に、インデックスを追加したいところでインデックス（INDEX）ボタンを押す。

押したところから新しい用件番号がつき、その番号が3回点滅します。2つの用件として録音されますが、途切れず続けて録音されます。

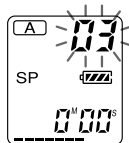
1件目	2件目	3件目

▲ インデックスを追加
→ 続けて録音される

☞ 録音一時停止中（13ページ）にもインデックスを追加できます。

●再生中にインデックスを追加するには

分割したい用件を再生し、インデックスを追加したいところでインデックス（INDEX）ボタンを押す。

用件が分割され、新しい用件番号が3回点滅します。以降の用件番号はひとつずつ送られます。

☞ ❚❚一時停止(PAUSE)ボタンで再生一時停止中（18ページ）にもインデックスを追加できます。

インデックスを追加した部分を探して聞くには

分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様に⏮または⏭を押して再生する部分を探してください。

☞ **分割した用件を続けて聞くには**
40ページ「ファイル内の用件を続けて再生する」で「CONT ON」を選ぶと便利です。

ご注意
ファイル内にすでに99件録音されている場合は、インデックスは追加できません。不要な用件を消去するか、もう一方のファイルに用件を移動(29ページ）して、1つのファイル内の用件数を98件以下にしてから操作してください。

(次ページへ続く)

用件をふたつに分ける／つなげる — インデックス追加／削除（つづき）

用件をつなげる（インデックス削除）

「インデックス」を削除することで2つの用件を１つの用件にまとめることができます。

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目

▲インデックスを削除

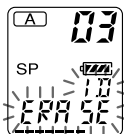
1件目	2件目	3件目	4件目

用件番号が1つずつ減る

停止中に操作します。

1 ⏮または⏭ボタンで、つなげたい2つの用件のうち、後ろのほうの用件番号を選ぶ。

2 インデックス（INDEX）ボタンを押しながら消去（ERASE）ボタンを1秒以上押す。
「ID ERASE」が10秒間点滅します。

3 点滅している間に消去（ERASE）ボタンを押す。
2つの用件が1つの用件にまとまり、用件番号が上図のようにつけ直されます。

インデックスの削除を途中でやめるには

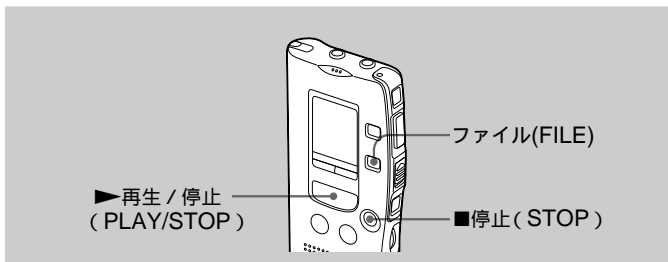
手順3の前で■停止（STOP）ボタンを押します。

インデックス追加・削除についてのご注意

インデックスを頻繁に追加または削除すると、インデックスの追加／削除ができなくなることがあります。

これは、ICレコーダーの録音方式のシステム上の制約によるもので、故障ではありません。
また、システム上の制約により、用件の始めと終わりの各1秒（LPモードでは2秒）にはインデックスを追加できないことがあります。

用件を別のファイルに移動する
−ムーブ

録音済みの用件を、もう一方のファイルに移動させることができます。（ファイルAの用件をファイルBへ移動、またはBからAへ移動できます。）

例：ファイルAの3件目の用件をファイルBに移動する場合

1 移動させたい用件を再生する。

2 用件の再生中にファイル(FILE)ボタンを押して、移動先のファイルを点滅させる。移動先のファイルと「MOVE」表示が点滅し、用件の頭の5秒と最後の5秒が10回繰り返し再生されます。

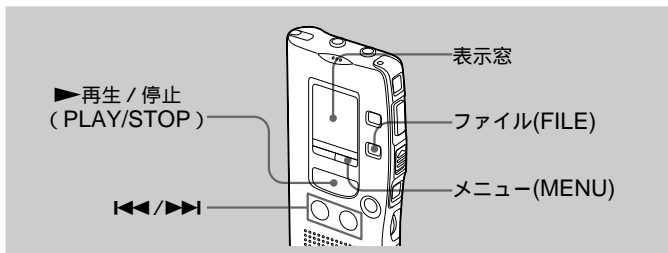
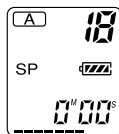
3 ►再生／停止(PLAY/STOP)ボタンを押す。

（例：ファイルBに既に4件入っていた場合）

☞ **途中でファイルの移動をやめるには**
手順3の前に■停止(STOP)ボタンを押します。

ご注意
ムーブ機能を使って用件を移動すると、もとのファイルからは用件がなくなり、移動先のファイルのみに用件が入ります。（用件をコピーする機能ではありません。）

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生することができます。

1 ファイル(FILE)、I◄◄ または►►Iボタンを使って、アラーム再生したい用件のファイルと用件番号を選ぶ。

2 アラーム設定画面を表示する。

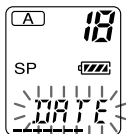
① **メニュー(MENU) ボタンを押す。**
メニューモードに入り、「ALARM OFF」が表示されます。
(「ALARM ON」が表示されるときは、すでにその用件がアラーム設定されています。そのままで良い場合は、メニューボタンを押してメニューモードを終了させてください。）

ご注意

時刻設定をしていない場合や用件が録音されていない場合は、メニューモードの「ALARM」は表示されません。（アラーム設定はできません。）

② **►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。**
「OFF」が点滅します。

③ **I◄◄ または►►Iボタンを押して、「ON」を点滅させる。**

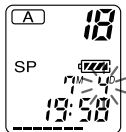
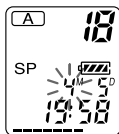
④ **►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。**
「DATE」が点滅します。

3 アラーム再生する日を設定する。

●月日を指定する場合

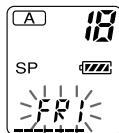
（用件を消去するまで毎年同じ日、時刻に再生されます。）

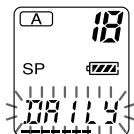
① **「DATE」が点滅している間、►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。**
「月」の数字が点滅します。

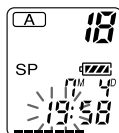
② **I◄◄ または►►Iボタンを押して月の数字を選び、►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。**
「日」の数字が点滅します。

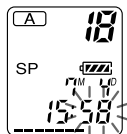
③ **I◄◄ または►►Iボタンを押して日の数字を選ぶ。**

(次ページへ続く)

●週に1回再生したい場合

⏮または⏭ボタンを押して曜日を選ぶ。

●毎日決まった時刻に再生したい場合

⏮または⏭ボタンを押して「DAILY」を選ぶ。

4 ►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。

時刻設定画面が表示されます。

5 アラーム再生する時刻を設定する。

① **⏮または⏭ボタンを押して時の数字を選び、►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。**
「分」の数字が点滅します。

② **⏮または⏭ボタンを押して分の数字を選び、►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。**

「ALARM ON」と「((•))」が表示され、設定が完了しました。

6 メニュー(MENU)ボタンを押してメニューモードから出る。

アラーム設定した用件には「((•))」が表示されます。
設定した時刻になると、約10秒間アラーム音が鳴り、選んだ用件の再生が始まります。
再生中は、「ALARM」表示が点滅します。
再生が終わると、自動的に停止します。（アラーム再生した用件の頭に戻ります。）

☞ **アラーム再生された用件をもう一度聞くには**
►再生／停止 (PLAY/STOP)ボタンを押すと、その用件の始めから再生されます。

☞ **用件が再生される前に止めるには**
アラーム音が鳴っている間に■停止(STOP)ボタンを押します。ホールド(HOLD)スイッチが入っていても止められます。

ご注意

- 日時設定をしていない場合や、用件が1件も録音されていない場合は、アラーム設定はできません。（メニューモードに入ってもアラーム設定画面が表示されません。）
- すでに他の用件でアラーム設定されているのと同じ時刻をアラーム設定しようとすると、「PRE SET」が表示され、設定はできません。
- アラーム再生中に別の用件の設定時刻になった場合、用件の途中で次のアラーム再生が始まります。
- 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、録音を終了したときに約10秒間アラーム音が鳴り、用件が再生されます。「((•))」は設定した時刻に点滅します。
- 録音中に2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方の用件のみ再生されます。
- メニューモード中にアラーム設定時刻になった時は、メニューモードが中止され、アラームが鳴ります。
- アラーム再生を設定した用件を消去すると、アラーム設定は無効になります。
- アラーム再生を設定した用件にインデックスを追加した場合、分けた点より前の部分のみアラーム再生されます。

(次ページへ続く)

- アラーム再生を設定した用件のインデックスを削除し、前の用件とつなげた場合、アラーム設定は無効になります。
- 再生音の大きさは、音量（VOL）つまみで調節できます。ちょうど良い音量に設定してお使いください。
- 消去中にアラーム設定した時刻になった場合は、消去を終了したときに約10秒間アラーム音が鳴り、用件が再生されます。
- 一度設定したアラームは、アラーム再生を終了した後も設定は解除されません。

アラーム設定を解除またはアラーム時刻を変更するには

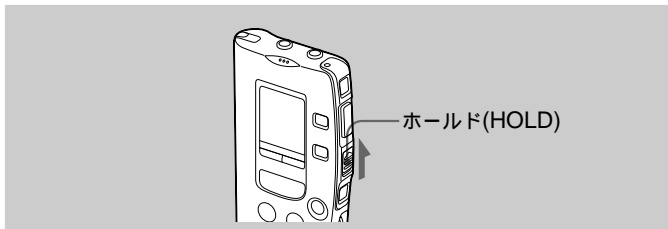
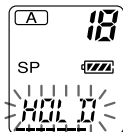
1 アラーム設定してある用件を選び、メニュー(MENU)ボタンを押す。「ALARM ON」が表示されます。

2 ►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押して「ON」を点滅させる。

3 **アラーム設定を解除する場合：**I◄◄または►►Iボタンを押して「OFF」を点滅させ、►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。

アラーム時刻を変更する場合：►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。現在設定されているアラーム再生日が表示されたら、31〜32ページの手順3〜5を行い、アラーム再生日、時刻を変更する。

4 メニュー(MENU)ボタンを押してメニューモードから出る。

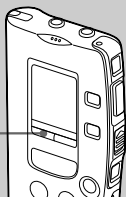
誤操作を防止する— ホールド機能

ホールド(HOLD)スイッチを矢印の方向にずらします。「HOLD」が3回点滅し、すべてのボタンが操作できなくなります。

操作できるようにするには、ホールド(HOLD)スイッチを矢印と反対の方向にずらしてください。

ご注意
録音中にHOLDにした場合、録音を止めるには、まずHOLDを解除してください。

ホールド中でもアラーム再生は止められます。
アラーム再生時、アラーム音や用件再生を止めるときには■停止(STOP)ボタンは使えます。（通常の用件再生は停止できません。）

表示を切り換える

表示（DISPLAY）切り換えボタンを押すと下記のように表示を切り換えることができます。停止時、録音時、再生時とも、設定しておいた表示モードになります。

☞ **現在時刻表示について**
停止中に3秒以上何も操作しないと、表示モードに関係なく、現在時刻表示になります。

カウンター表示モード
ひとつの用件の中の経過時間を表示します。

↓

残り時間表示モード
録音可能な残り時間を表示します。
録音可能残時間はSPモードかLPモードかによって変わります。

↓

録音日時表示モード
用件を録音した年月日、時刻を表示します。
（時計を合わせていない場合は「-M--D--:--」と表示されます。）

録音モードを切り換える

SP：最大128分間の録音ができます。より良い音質で録音できます。
LP：最大300分間の録音ができます。

1 メニュー(MENU)ボタンを押す。
メニューモードに入ります。

2 ⏮またはボタン⏭を押し、「MODE」を表示させ、►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。
「SP（またはLP）」が点滅します。

3 ⏮または⏭ボタンを押し、SPまたはLPを選び、►再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。

設定が完了しました。

4 メニュー(MENU)ボタンを押して、メニューモードから出る。

ピッという確認音を切る

BEEP ON： 操作時の受け付け確認音が鳴ります。
BEEP OFF：操作時の受け付け確認音が鳴りません。（アラームは鳴ります。）

1 メニュー(MENU)ボタンを押す。
メニューモードに入ります。

2 ⏮またはDDIボタンを押し、「BEEP」を表示させ、▶再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。
「ON（またはOFF）」が点滅します。

3 ⏮または⏭ボタンを押し、ONまたはOFFを選び、▶再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。

設定が完了しました。

4 メニュー(MENU)ボタンを押して、メニューモードから出る。

音が表わす意味

音のパターン	意味
ピッ（1回鳴る）	通常モードの操作
ピピッ（2回鳴る）	メニューモードなど、特別なモードに入った時／出たとき
ピピピッ（3回鳴る）	お知らせ*
ピピピピ　ピピピピ（連続して鳴る）	アラーム設定の時刻になった時

* 誤った操作をしたときや特別な状態などをお知らせします。
  例：　– 録音可能時間または録音可能件数いっぱいまで録音されているのに、さらに録音をしようとしたとき
  – 電池残量がなくなり、動作が停止するとき

ファイル内の用件を続けて再生する —コンティニュー再生

CONT ON： 用件を続けて再生します。
CONT OFF：用件が終わるごとに止まります。

1 メニュー(MENU)ボタンを押す。
メニューモードに入ります。

2 I◀◀または▶▶Iボタンを押し、「CONT」を表示させ、▶再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。
「OFF(またはON)」が点滅します。

3 I◀◀または▶▶Iボタンを押し、ONまたはOFFを選び、▶再生／停止（PLAY/STOP）ボタンを押す。

設定が完了しました。

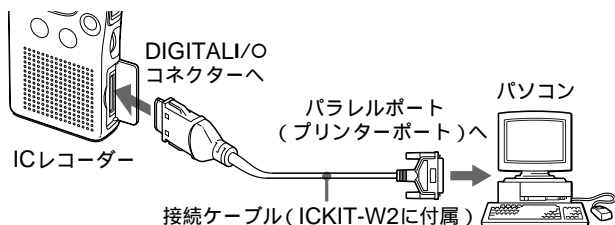
4 メニュー(MENU)ボタンを押して、メニューモードから出る。

別売りのパソコン接続キットを使う（日本国内のみ）

別売りのパソコン接続キットICKIT-W2*（日本国内）を使ってパソコンに接続すると、以下のことができます。

- 本機で録音した音声データをパソコンのハードディスクに保存できます。
- パソコンに保存したデータを本機に再度転送することもできます。（ICD-R100／R200で録音した音声データのみに対応。）
- パソコンに取り込んだ用件を電子メールに添付すれば、声のメールを送ることができます。（電子メールソフトはICKIT-W2には含まれていません。）

*ICKIT-W2はICD-R100／R200専用パソコン接続キットです。ICD-70, ICD-80とは接続できません。また、本機にはICKIT-W1は接続できません。

接続図

必要なシステム構成

□ 以下の性能を満たしたIBM PC/AT*およびその互換機
CPU： 200MHz以上のPentium®プロセッサ**もしくは同等の性能を有するプロセッサー
RAM容量：16Mバイト以上
ハードディスクの空き容量：10Mバイト以上(音声データの扱い量に比例して多くの空き容量が必要です。）
ドライブ：3.5型FDドライブ
通信ポート：パラレルポート（プリンターポート）
サウンドボード

□ OS： Microsoft Windows®95または Windows®98***(日本語版)

* IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
** Pentiumはlntel Corporationの登録商標です。
*** MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

使用上のご注意

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

ご使用場所について

- 運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  –温度が非常に高いところ（60°C以上）。
  –直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  –窓を閉めきった自動車内。（特に夏期）。
  –風呂場など湿気の多いところ。
  –ほこりの多いところ。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

故障かな？

修理に出す前にもう一度お調べください。

症状	原因／処置
操作ボタンを押しても動作しない。	• 乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。 • 乾電池が消耗している。 • ホールド(HOLD)スイッチが入っている。(ボタンを押すと「HOLD」表示が3回点滅します。)
スピーカーから音が出ない。	• イヤホンまたはヘッドホンが差し込まれている。 • 音量が絞られている。
「END」が点滅し、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっている。 →不要な用件を消去する。(20ページ参照) • 選んだファイルに99件録音されている。 →別のファイルを選ぶか、不要な用件を消去する。(20ページ参照)
雑音が入る。	• 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 • 外部マイク（別売り）で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 →プラグをきれいにクリーニングする。 • 別売りのイヤホン／ヘッドホンで聞いているとき、イヤホン／ヘッドホンのプラグが汚れている。 →プラグをきれいにクリーニングする。
録音レベルが小さい。	• マイク感度が「口述(L)」になっている。「会議(H)」に切り換える。(14ページ参照)
録音が途中で止まる。	• デジタルVOR（22ページ）が作動している。VORを使用しないときは、「VOR OFF」にする。
録音レベルが不安定。 （音楽などを録音したとき）	• 本機は会議などの録音の際、自動的に録音レベルを調整するよう設計されているため、音楽などの録音には適していません。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• 再生スピード（PLAY SPEED）切り換えスイッチを「標準（NORMAL）」に合わせる。(25ページ参照)

(次ページへ続く)

故障かな？（つづき）

症状	原因／処置
時計表示が「-M--D --:--」になる。	• 時計を合わせていない。 (10ページ参照)
REC DATE表示が「-M--D --:--」になる。	• 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されない。
録音／再生中にインデックスが追加できない。	• インデックスを頻繁に追加するとインデックスの追加ができなくなることがあります。 • 用件の始めと終わりの各1秒（LPモードでは2秒）にはインデックスを追加できないことがあります。
インデックスの削除ができない。	• インデックスを頻繁に削除するとインデックスの削除ができなくなることがあります。
最大録音時間（SP:128分、LP:300分）まで録音できない。	• A、B両方のファイルに各99件録音済みの場合は、それ以上録音できません。 • SPモードとLPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間は128〜300分の間になります。 • システム上の制約により最小録音単位(SP:約4秒、LP:約10秒）があるため、用件の数が多いと、端数が出ることにより実際の録音可能時間が最大録音時間より短くなることがあります。 （15ページ参照）
バックライトがつかない。	• 明るいところでは、バックライトが点灯していることがわかりにくいことがあります。
電池の持続時間が短い。	• 9ページの乾電池の持続時間は、音量（VOL）つまみ「4」付近で内蔵スピーカーで再生した場合の目安です（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）使用時）。使用条件によっては短くなる場合があります。
正常に動作しない。	• 乾電池を取り出して、もう一度入れ直す。
パソコンとの接続ができない。	• 別売りのICKIT-W2の取扱説明書を参照してください。（41ページ参照、日本国内） • ICKIT-W2のバージョンによっては、本機と接続できないことがあります。この場合は別売りのICKIT-W2の取扱説明書に記載のカスタマーサポート専用ラインへお問い合わせください。 • 別売りのICKIT-W1は本機とは接続できません。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

主な仕様

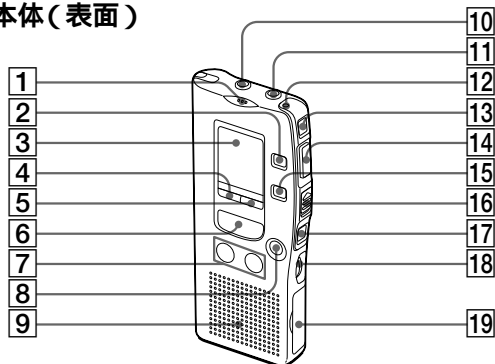
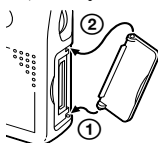
録音方式	内蔵フラッシュメモリー使用　モノラル録音
最大録音時間	SP：128分 LP：300分
周波数特性	SP：280～4,800Hz LP：240～2,800Hz
スピーカー	直径　28mm
入・出力端子	イヤホン（ミニジャック／モノラル）出力 　負荷インピーダンス　8～300Ω マイク（ミニジャック／モノラル）入力 　プラグインパワー対応 　最小入力レベル 0.5mV デジタルI/O端子（15ピン特殊コネクター）
再生スピード調節	LPモード時：FAST ＋30%、SLOW –15% SPモード時：FAST ＋20% 、SLOW –15%
実用最大出力	110mW
電源	DC 3V　単4形アルカリ乾電池2本使用
最大外形寸法	約44.4×100.5×12.5mm（幅／高さ／奥行き） 最大突起部含まず
質量	68g（アルカリ乾電池LR03 2本含む）
付属品	ソニーアルカリ乾電池LR03（2） キャリングケース（1） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）
別売アクセサリー	モノラルイヤーレシーバー MDR-E123（国内のみ） アクティブスピーカー SRS-28M（国内）/SRS-T1（海外） エレクトレットコンデンサーマイクロホン 　ECM-R100（卓上型）、ECM-T15（タイピン型） 接続コード RK-G64（国内のみ） パソコン接続キットICKIT-W2*（国内） * Windows®98/Windows®95（日本語版）対応 (詳しくは41ページ参照)

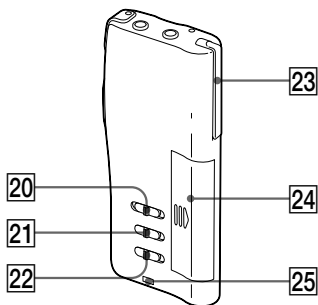
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外では、国によって扱っていない別売りアクセサリーもあります。

各部のなまえ

本体（表面）

1 内蔵マイク(MIC)（☞12ページ）
2 インデックス(INDEX)ボタン（☞26ページ）
3 表示窓（☞47ページ）
4 表示(DISPLAY) 切り換えボタン（☞36ページ）
5 メニュー(MENU)ボタン（☞ 10、30、37〜40ページ）
6 ►再生／停止(PLAY/STOP)・決定(EXECUTE)ボタン（☞ 10、17、31、37〜40ページ）
7 ◄◄ レビュー(REVIEW)／►►I キュー(CUE)（早戻し／早送り・メニュー内項目選択）ボタン（☞ 10、16、30、37〜40ページ）
8 ■停止(STOP)ボタン（☞13、18ページ）
9 スピーカー
10 マイク(MIC)ジャック（☞24ページ）
11 イヤホン(EAR)ジャック（☞ 14、17ページ）
12 録／再(OPR)ランプ（☞ 12、17ページ）
13 II一時停止(PAUSE)ボタン（☞ 13、18ページ）
14 ●録音／停止(REC/STOP)ボタン（☞12、23ページ）
15 ファイル(FILE)切り換えボタン（☞ 12、16ページ）
16 ホールド(HOLD)スイッチ（☞35ページ）
17 消去(ERASE)ボタン（☞20ページ）
18 音量(VOL)つまみ（☞17ページ）
19 DIGITAL I/Oコネクター（パソコン接続用）（☞41ページ）

裏面

20 再生スピード(PLAY SPEED)切り換えスイッチ(☞25ページ)

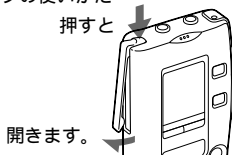
21 マイク感度(MIC SENS)切り換えスイッチ(☞14ページ)

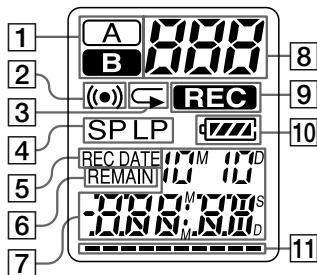
22 VOR切り換えスイッチ(☞22ページ)

23 クリップ*

24 電池ぶた(☞8ページ)

25 ハンドストラップ取り付け部(ハンドストラップは付属していません。)

***クリップの使いかた**

- 厚手のポケットなどに差すと壊れることがあるので、ご注意ください。
- 本機をクリップでポケットに差し込んだまま、かがんだり走ったりするときは、クリップがはずれて落下しないよう、ご注意ください。

表示窓

1 ファイル表示(☞ 12、16ページ)

2 アラーム表示(☞33ページ)

3 一件リピート表示(☞19ページ)

4 録音モード(☞37ページ)

5 REC DATE(録音日付、時刻)表示(☞36ページ)

6 REMAIN(録音可能時間)表示(☞36ページ)

7 カウンター、残り時間、録音日時、現在時刻表示(☞36ページ)、メニュー表示、操作メッセージなど。

8 選んだ用件番号(☞ 12、16ページ)

メニュー内のモード表示(☞ 10、30、37、38、40ページ)(ON、OFFなど)

9 REC(録音)表示(☞12ページ)

10 電池交換時期表示(☞9ページ)

11 メモリー残量表示(☞14ページ)

ご注意

明るいところでは、バックライトが点灯していることがわかりにくいことがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外での保証とアフターサービスについて

- 保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

メニュー一覧

：►再生／停止 (PLAY/STOP)ボタンで決定して進みます。

：I◄◄ または►►Iボタンで選びます。

* 日時設定をしていない場合や、用件が1件も録音されていない場合は、「ALARM」は表示されません。

DATE
月
日
時
分
SUN
時
分
MON
時
分
TUE
時
分
WED
時
分
THU
時
分
FRI
時
分
SAT
時
分
DAILY
時
分